



とっとり

天下

の境目

山中幸盛(鹿介)

令和3年度企画展

# とっどりの乱世

因幡・伯耆からみた戦国時代

2021 10.9 SAT >> 11.7 SUN

開館時間 ◆ 午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで  
休館日 ◆ 10月25日(日)

観覧料 ◆ 一般700円  
20名様以上の団体・大学生・70歳以上の方500円  
前売500円(一般のみ)  
※次の方は無料。高校生以下の方、  
学校教育活動での引率者、障がいのある方、  
難病患者の方・要介護者等及びその介護者

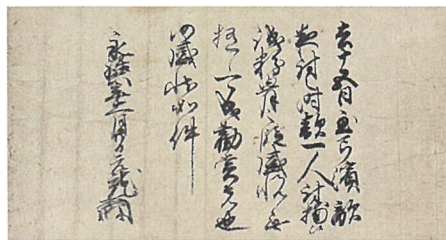
会場 ◆ 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室  
主催 ◆ とっどりの乱世展実行委員会  
(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)  
協賛 ◆ 日本通運 モリックスジャパン 吉備総合電設  
三和商事 TIC鳥取県情報センター  
協力 ◆ 鳥取県立公文書館・鳥取県埋蔵文化財センター・  
鳥取市歴史博物館

**鳥** 取県を構成した因幡・伯耆国は山名氏・尼子氏・毛利氏・織田氏などの強大な勢力をもつ大名同士が人智の限りを尽くして競い合う、「境目」と呼ばれる紛争地帯でした。一方で、因幡・伯耆の人々もこの乱世に果敢に立ち向かい、克服しようとしました。因幡・伯耆国の100年にわたる戦国時代史と、鳥取藩主池田家とその家臣たちの戦国時代の履歴をご紹介します。本企画展では鳥取県にまつわる戦国時代の古文書・武具・甲冑・肖像画などを、新出資料も含め多数展示します。



池田輝政画像(当館蔵)

- ◆ プロローグ  
乱世のはじまりと因幡・伯耆
- ◆ 1章  
乱世に翻弄される因幡・伯耆
- ◆ 2章  
乱世を克服する因幡・伯耆
- ◆ 3章  
戦国期因幡・伯耆の文化・経済
- ◆ 4章  
鳥取藩池田家・藩士たちの乱世
- ◆ 特別展示コーナー  
戦国とっとりの合戦



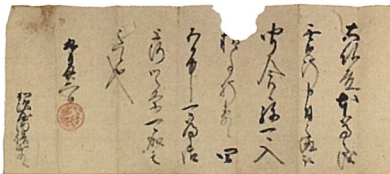
毛利元就感状(「山口博物館所蔵文書」/山口県立山口博物館所蔵)



槍銘泉家(山館所蔵)



鉄鎧十二間筋兜(吉川史料館所蔵)



豊臣秀吉朱印状(鳥取加須屋家文書/個人蔵)

**見どころ** 躍動する甲冑ディスプレイ



古美術宝珠丸株式会社 丸山美術の協力・監修のもと、当世具足を着たマネキン武者達が合戦図の白銀シーンを再現します！

**見どころ** よみがえる鳥取県の山城



狗戸那城ジオラマ

県内に多数残されている山城を、県埋蔵文化財センターの最新の研究成果をもとに紹介します。城郭の空撮動画も放映予定です。

**見どころ** イラストレーター 獅子猿の美麗な武将たち

山中幸盛(鹿介)をはじめ、5人の武将がイラストで登場！関連グッズも限定販売！



下坂本清合遺跡出土埋蔵銭(鳥取県埋蔵文化財センター所蔵)

**関連行事**

**因幡・伯耆国の戦国時代史の今**  
[シンポジウム] 10月17日 [日] 14:00~15:30

鳥取県の戦国時代研究の近年の成果と課題を紹介します。[申込不要]

鳥取県立博物館 × 鳥取市歴史博物館 連携企画  
**二つの展覧会で見るとっとりの戦国時代**  
[歴史講座 & 展示解説]

[日時] 10月17日(日) 市博編 10:00~12:00  
[会場] 鳥取市歴史博物館  
[日時] 10月24日(日) 県博編 10:00~12:00  
[会場] 鳥取県立博物館講堂・特別展示室  
[定員] 25名 [要申込] 県博編は10月7日(木)より予約受付、受付は実施館(県博 0857-26-8044)・市博 0857-23-2140)

講師：石井伸宏(鳥取市歴史博物館)、山本隆一朗(鳥取県立博物館) 鳥取市歴史博物館で開催する特別展「吉川経家と吉川家の名品〜吉川史料館名品展〜」とのコラボレーション企画です。担当学芸員がそれぞれの企画展で講座・展示解説を行います。

**はじめてのお抹茶体験** (幼児・小学生向け)

[歴史講座] 10月31日 [日] 14:00~15:30  
石臼でお抹茶をひき、お菓子とともにお茶を楽しみます。  
[要申込] 10月14日 [木]~

**中国地域の戦国争乱と「境目」地域の民衆**

[講演会] 11月3日 [水・祝] 13:30~15:30  
講師：山本浩樹(龍谷大学教授) / 当企画展のキーワードである「境目」「境目」研究の第一人者・山本浩樹先生に乱世を生きた人々と因幡・伯耆を含む中国地方の戦乱についてお話いただけます。[要申込]

**花押のデザイン** (定員20名)

[歴史講座] 11月7日 [日] 14:00~15:30  
戦国武将たちが文書に用いた手書きのサイン「花押」。花押について学びながら自分だけの花押をデザインして判子にしてみましょう。[要申込] 10月21日 [木]~

次回 東郷青児と前田寛治、ふたつの道  
展覧会は 11月20日(土)~12月26日(日)



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本展の会期や内容、関連イベントに変更が生じる可能性があります。最新情報は、鳥取県立博物館ホームページにてご確認ください。

- 交通のご案内
- ◎ JR鳥取駅からバスで
  - ① 100円バス「くる線(緑コース)」で「①仁風閣・県立博物館」下車すぐ
  - ② ループ麒麟獅子「③鳥取城跡」下車すぐ
  - ③ 砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車約400m
  - ④ 市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
  - ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
  - ◎ 鳥取砂丘コナン空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
  - ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICまたは鳥取西ICより約15分
- ◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください

お客様の満足のその先へ...

**MORRIX**  
株式会社モリックスジャパン  
TEL 0857-23-3641  
本社 鳥取市商栄町203-6  
倉吉店 倉吉市下田中町870 中瀬ビル3F  
http://www.morrix.co.jp/

**日本通運**  
NIPPON EXPRESS  
鳥取事業所 0857-28-0202

Seiji & Kanji

# 東郷青児と 前田寛治、ふたつの道

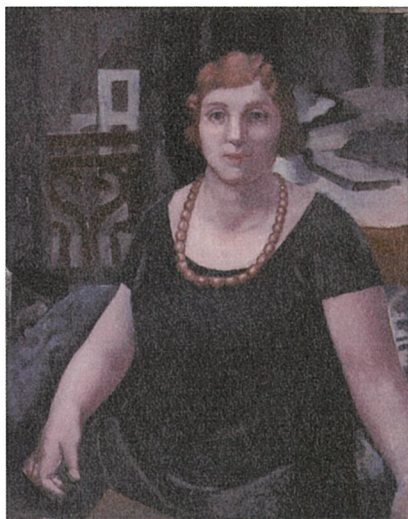
令和3年度 鳥取県立博物館企画展  
コレクション「マリアージュ」  
SOMPO美術館×鳥取県立博物館



前田寛治《自画像》1928年頃 油彩・キャンヴァス  
鳥取県立博物館所蔵



東郷青児《自画像》1914年 油彩・板  
SOMPO美術館所蔵



前田寛治《西洋婦人像》1925年頃 油彩・キャンヴァス  
鳥取県立博物館所蔵



東郷青児《超現実派の散歩》1929年 油彩・キャンヴァス  
SOMPO美術館所蔵

モダンボーイと哲学者、そして  
彼らが出会った日本・フランスの画家たち

2021  
11.20<sub>[土]</sub> 12.26<sub>[日]</sub> 休館日:12月6日(月)

【開館時間】午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで  
【会場】鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室  
【観覧料】一般:800円(前売・20名以上の団体・大学生・70歳以上:600円)

※次の方々は無料です。◎高校生以下 ◎学校教育活動での引率者  
◎障がいのある方、難病患者の方、要介護者等およびその介護者

【主催】東郷・前田展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)  
【特別協力】SOMPO美術館、損保ジャパン  
【協賛】日本通運 株式会社モリックスジャパン 株式会社吉備総合電設 三和商事株式会社  
TTC鳥取県情報センター

Works of Seiji Togo ©Sompo Museum of Art, 20023

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041  
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/ E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp



鳥取県立博物館  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

# 東郷青児と 前田寛治、ふたつの道

Seiji & Kanji

モダンボーイと哲学者、そして  
彼らが出会った日本・フランスの画家たち

日本を代表する洋画家である東郷青児(とうごう・せいじ 1897年～1978年 鹿児島市生まれ)と前田寛治(またた・かんじ 1896年～1930年 現・鳥取県東伯郡北栄町生まれ)は、ほぼ同時期に日本の地方都市に生まれ、同じように西洋美術に惹かれて画家の道へと進みました。これまでのところ二人のあいだに親交があったことは確認されていませんが、画業の初期には二人とも同時期にパリに留学し、彼の地の様々な美術や文化を吸収します。日本に戻って以降、東郷は二科会で、前田は1930年協会と帝展で自らの絵画を世に問うていきました。同時代のパリの空気を吸った二人ですが、彼らの作風は大きく異なり、モダンボーイと呼ばれた東郷のそれは、装飾的かつ洗練されたモダンな女性像により異国の情趣を伝えようとするもの、一方、学者肌の絵画探究者であった前田のそれは、自身の中にある詩的感性と西洋絵画の伝統を踏まえた写実性とを作品の上で融合させようとするものでした。時代を共有しながらも、二人が西洋から受け取ったもの、そしてそれによって培われた絵画論は異なり、画家それぞれの個性に応じて、彼らの芸術は実に多様に花開いたのです。

本展は、東京のSOMPO美術館(旧・東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館)の協力により、約240点の東郷青児作品および東郷に関係する日本・フランスの画家の作品を収蔵する同館のコレクションから45点の作品と、約390点の前田寛治作品と前田の周辺画家の作品を収集してきた鳥取県立博物館のコレクションから50点ほどの作品を選び、それらを織物のように有機的に組み合わせて構成するものです。パリを経由しつつ、大きく異なる作風を築いた東郷と前田。二人の仕事を際立たせながら、彼らが出会った日本とフランスの画家たちの作品にも焦点を当て、近代日本の洋画家たちが追い求め、築こうとしたものとは何だったのかを、あらためて見つめ直したいと思います。



1. 前田寛治《仰臥裸婦》1925年 油彩・キャンヴァス 鳥取県立博物館所蔵
2. 佐伯祐三《オーヴェールの教会》1924年 油彩・キャンヴァス 鳥取県立博物館所蔵
3. 東郷青児《ピエロ》1926年 油彩・キャンヴァス SOMPO美術館所蔵  
©Sompo Museum of Art, 20023
4. 藤田嗣治《猫と少女》1951年頃 油彩・キャンヴァス SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託) ©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 G2619
5. ポール・ゴーガン《アリスカの並木路、アルル》1888年 油彩・キャンヴァス SOMPO美術館収蔵(損保ジャパンより寄託)
6. ギュスターヴ・クールベ《まどろむ女(習作)》1852年頃 油彩・キャンヴァス 鳥取県立博物館所蔵

## 【関連プログラム】

### ■ギャラリートーク(本展担当学芸員による展示解説)

- ◎日時：11月20日(土)、12月4日(土)、18日(土)  
各日14時～15時
- ◎会場：本展展示会場(要観覧料)
- ◎定員：なし

### ■アートシアター「世界のグレートアーティスト／パリの特別美術展」(DVD)より

- (1) 11月27日(土)「モネ／クールベ」
  - (2) 12月11日(土)「ピカソ」
  - (3) 12月25日(土)「象徴主義／シャガール」
- ◎上映時間：各日14時～15時 ◎会場：2階講堂(視聴無料)
  - ◎対象：高校生～一般 ◎定員：当日先着70名(申込不要)

## ◆ 次の企画展 ◆ 小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌(レクイエム) 2022年2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本展の会期や内容に変更が生じる可能性があります。最新情報は鳥取県立博物館ホームページにてご確認ください。

## 交通のご案内

- ◎ JR鳥取駅からバスで  
a. 100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ  
b. ループ麒麟獅子(土・日・祝日のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ  
c. 砂丘、湖山、箕露方面行「西町」下車約400m  
d. 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎ 鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。

